



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲警告 …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

●下記のような医用電子機器を使用されている方は、操作を行わないでください。

各医用電子機器に誤作動をまねくおそれがあります。

(1)ペースメーカー等の体内埋込型機器 (2)人工心肺等の生命維持用機器 (3)装着型の心電計等

▲注意

●吊車の本体への取付けは、吊車が本体木口面と同一面になるまで押し込んでください。押し込み後、引張って抜けないことを確認してください。押し込みが足りないと本体が脱落するおそれがあります。

●上レールは出荷時に鴨居に仮固定されていますので、必ず指定のねじで躯体へ固定してください。本体が脱落するおそれがあります。

■取付け上のおお願い

- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。枠の水平・垂直がでない場合、本体召合せ部のすき間の原因になります。
- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 各部材のガイド穴にゴミが入らないようにしてください。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締め込んでください。但し、叩き込まないようにして下さい。保持力低下の原因となります。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから取付けしてください。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。
- 埋込みガイドピンをクッションフロアや弾性がある床に取り付けしないでください。部品が浮いて開閉に支障をきたす原因になります。
- 造作材・建具枠の下地材及び、かい木には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 枠の組立て後、揺らす・ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 枠は倒れ、傾き、たいこ、つぶみ、ねじれがないように取付けてください。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)
- 本体は落下させたり、立てかける時に衝撃を与えないでください。本体部品が損傷し、開閉に支障をきたす原因になります。
- 梁又はまぐさが軽量鉄骨の場合は、ねじ保持力が弱いので直接固定しないでください。必ず枠と軽量鉄骨の間に木枠を入れて取付けしてください。
- 鴨居取付けねじの締めすぎにご注意ください。上レールを変形させると本体の動きが悪くなる場合があります。本体吊込み時に動きが悪い場合は、ねじをゆるめてください。
- 取付け時の建具養生などは、ダンボール、ミラーマットなどを使用し、粘着力の強いテープ(ガムテープ、養生テープなど)を長い時間建具表面に直貼りしないでください。テープを剥がす際、表面シートを傷めたり、またテープそのものの粘着剤が表面に付着したまま残ることがあります。
- ガイドピンは、「**3**埋込みガイドピンの取付け」通りに正確な位置に取付けてください。本体の開閉操作に支障がでる原因になります。
- 本製品は上吊方式のため、梁又はまぐさで重量を受けますので、本体重量に耐える断面の梁又はまぐさをご使用ください。上枠及び、上レールの垂れ下がり原因になります。
- 枠組立て前に鴨居のレールに吊車を挿入してください。吊車の入れ方を間違えると本体の吊込みおよび、建付け調整ができません。
- 枠は取付け前に開梱した状態で現場に置かないようにしてください。現場の粉塵がソフトモーション部品に混入し、作動不良の原因となります。ソフトモーション部品に潤滑剤などを塗布しないでください。作動不良の原因になります。
- 本製品には、中縦枠は同梱されていません。小壁仕上げは現場にて対応してください。
- 運搬・加工の際は、ねじったりキズ付かないように取扱ってください。本体がねじれた場合、開閉に支障をきたす原因になります。

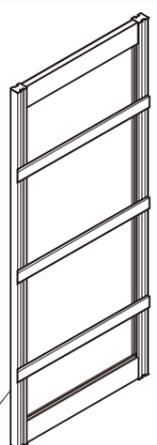
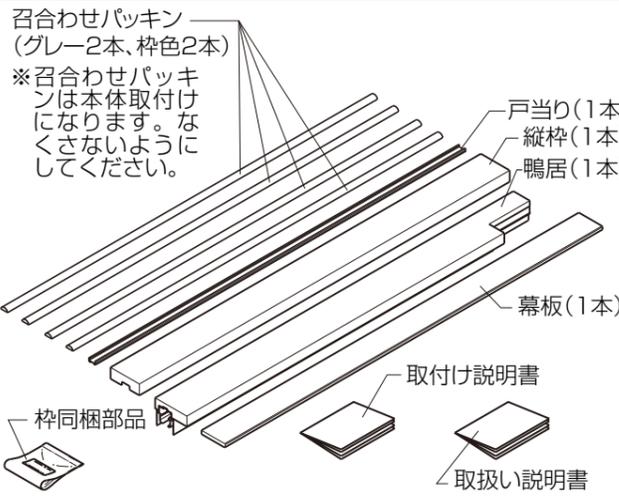
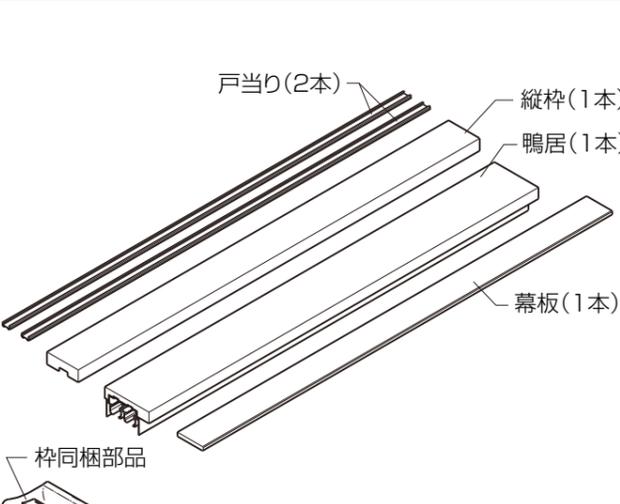
間口	本体重量	梁又はまぐさの断面寸法(幅×高さ)
9尺	75kg	105mm×300mm以上
12尺	100kg	105mm×360mm以上

■本体保管上のおお願い

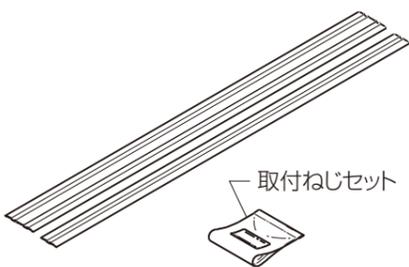
- 本体のソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。
・直射日光の当たる場所 ・昼夜などで温度差の激しい場所 ・湿気の多い場所
 - 本体を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因になります。
- ※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、取付け完了後に吊込むことをおすすめします。

■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品です。

本体	枠 A側(施工後の状態で内側(室内側)から見て右側)	枠 B側(施工後の状態で内側(室内側)から見て左側)	埋込みガイドピンセット
 <p>1枚梱包×3/1×2枚・2×1枚 1枚梱包×4/2×2枚・1×3枚・3×1枚 1枚梱包×5/2×3枚・3×2枚 1枚梱包×6/3×3枚</p>	 <p>召合わせパッキン (グレー2本、枠色2本) ※召合わせパッキンは本体取付けになります。なくさないようにしてください。</p> <p>戸当り(1本) 縦枠(1本) 鴨居(1本)</p> <p>幕板(1本)</p> <p>取付け説明書 取扱い説明書</p> <p>枠同梱部品</p> <p>※中縦枠、床見切り材が必要な場合は別途現場手配をしてください。 ※図は1×2枚を示します。</p>	 <p>戸当り(2本)</p> <p>縦枠(1本) 鴨居(1本)</p> <p>幕板(1本)</p> <p>枠同梱部品</p>	 <p>ガイドピンセット</p>

部材名称	W呼称							
	1×2枚		2×1枚		1×3枚		3×1枚	
	A側(1枚側)	B側(2枚側)	A側(2枚側)	B側(1枚側)	A側(1枚側)	B側(3枚側)	A側(3枚側)	B側(1枚側)
鴨居	1	1	1	1	1	1	1	1
縦枠	1	1	1	1	1	1	1	1
幕板	1	1	1	1	1	1	1	1
戸当り	1	2	2	1	1	3	3	1
召合わせパッキン	4		4		4		4	
部品セット	1	1	1	1	1	1	1	1
取付け説明書	1		1		1		1	
取扱い説明書	1		1		1		1	
本体 本体(1枚梱包)	3		3		4		4	
埋込みガイドピンセット	16個入り×1セット		16個入り×1セット		8個入り×3セット		8個入り×3セット	
フラット下レール	1	1	1	1	1	1	1	1

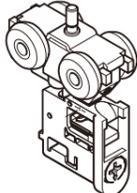
フラット下レール	
 <p>取付ねじセット</p>	

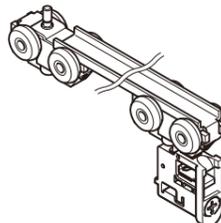
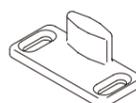
部材名称	W呼称							
	2×2枚		2×3枚		3×2枚		3×3枚	
	A側	B側	A側(2枚側)	B側(3枚側)	A側(3枚側)	B側(2枚側)	A側	B側
鴨居	1	1	1	1	1	1	1	1
縦枠	1	1	1	1	1	1	1	1
幕板	1	1	1	1	1	1	1	1
戸当り	2	2	2	3	3	2	3	3
召合わせパッキン	4		4		4		4	
部品セット	1	1	1	1	1	1	1	1
取付け説明書	1		1		1		1	
取扱い説明書	1		1		1		1	
本体 本体(1枚梱包)	4		5		5		6	
埋込みガイドピンセット	8個入り×3セット		10個入り×3セット		10個入り×3セット		10個入り×4セット	
フラット下レール	1	1	1	1	1	1	1	1

※A側は、施工後の状態で内側(室内側)から見て右側を示し、B側は左側を示す。

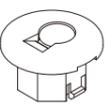
※召合わせパッキンはアルミ本体用2本(グレー)、木建本体用2本の合計4本が同梱されています。本体タイプにより選定の上、取付けてください。

■枠同梱部品

部材名称	部品名称
皿小ねじM4×50 (鴨居・縦枠組立て用)	
トラスタッピンねじφ4×50 (鴨居取付け用)	
DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50 縦枠取付け用	
吊車A	

部材名称	部品名称
吊車B	
固定ガイドピン(使用しません)	

■埋込みガイドピンセット

部材名称	部品名称
埋込みガイドピン	
埋込みガイドピンベース	

開口部の作り方

●製品寸法(納まり図参照)に合わせて、開口部の下地材をつくってください。

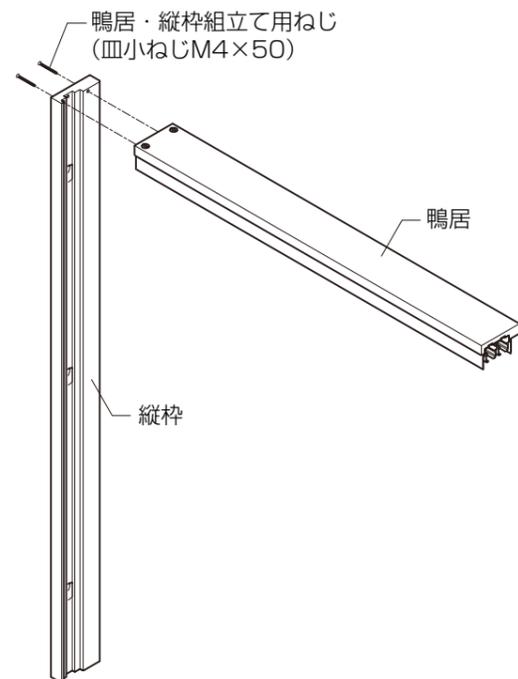
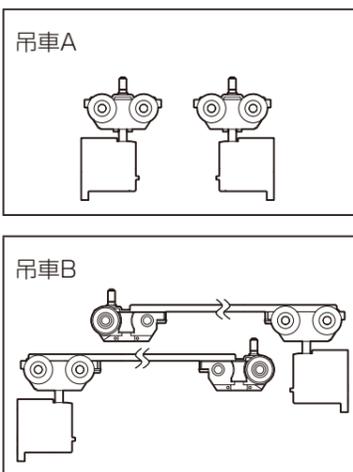
お願い

- ※床裏に補強材が入っていることを確認してください。
- ※本製品は床先張り(枠後付け)専用です。枠の取付け前に床を張ってください。
- ※開口部の水平・垂直を正しく出してください。
- ※本製品は上吊方式を採用しています。梁(まぐさ)は強度を要するため、必ず本体重量に耐える断面寸法のものを使用してください。上枠の垂下がりの原因になります。
- ※本体重量は1枚あたり15~25kg程になりますので必ず構造計算を行い、取付け躯体に十分な強度を持たせてください。

間口	本体重量	梁又はまぐさの断面寸法(幅×高さ)
9尺	75kg	105mm×300mm 以上
12尺	100kg	105mm×360mm 以上

取付け順序

1 枠の組立て



※縦枠の切詰めは不要です。

取付け詳細

1 枠の組立て

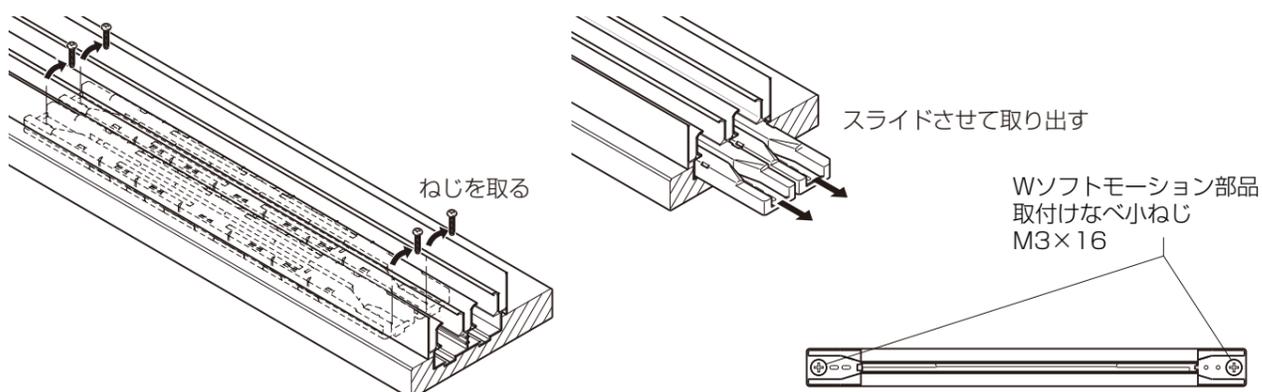
1 吊車の取付け

- 吊車AはA同士、BはB同士、それぞれ2個セットで各本体に使用します。使いわけを間違えると、Wソフトモーションがうまく作動しません。
- ※なお、Wソフトモーション部品に左右の向きはありません。



Wソフトモーション部品の取外し

- ①Wソフトモーション部品の取付けねじ(各2本)を外し、横にスライドさせてレール端部より取出してください。
 - ※2枚引き、3枚引きは吊車使いわけ図のC部のWソフトモーション部品を取り外してください。
 - ※C部以外のWソフトモーション部品を外す場合、レールと鴨居を固定しているねじが邪魔になる場合があります。その場合は、固定ねじを外してから、Wソフトモーション部品を取外してください。



- ②Wソフトモーション部品を外した側から、吊車の使いわけ図の向きで吊車を挿入してください。

お願い

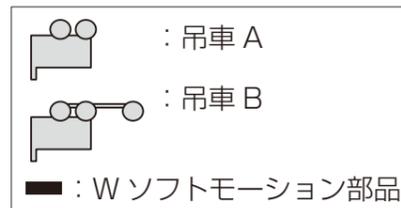
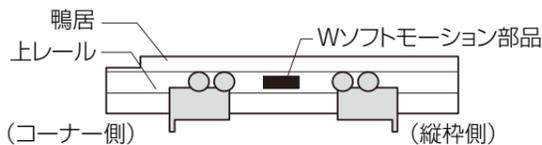
※吊車には左右があります。必ず吊車の使いわけ図の向きで挿入してください。

- ③外したWソフトモーション部品を元の位置に再度取付けてください。
 - ※Wソフトモーション部品に左右はありません。
- ④組立て中に吊車が動かないように、マスキングテープなど(現場手配)で仮固定してください。

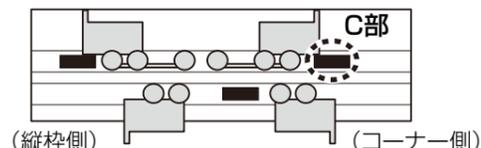
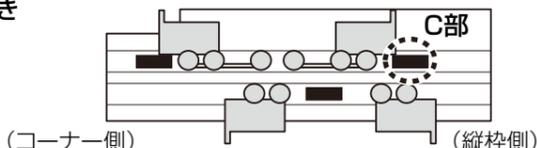
吊車の使いわけ図 ※説明の都合上、一部吊車のイラストを上下反転させています。

下図のとおり、吊車を上レールの各木口よりそれぞれ挿入してください。

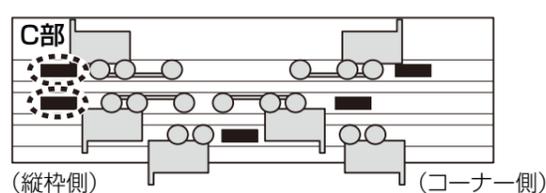
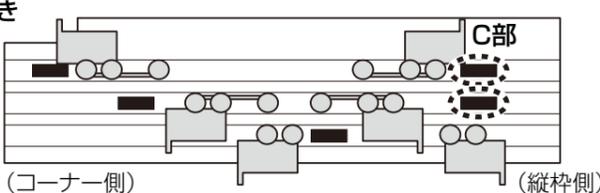
・1枚引き



・2枚引き



・3枚引き

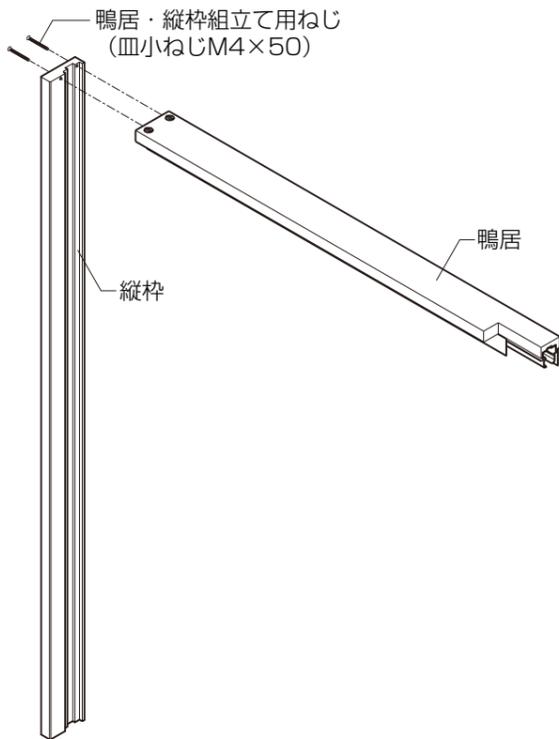


- 2枚引き、3枚引きは吊車挿入前にC部のWソフトモーション部品を取外してください。

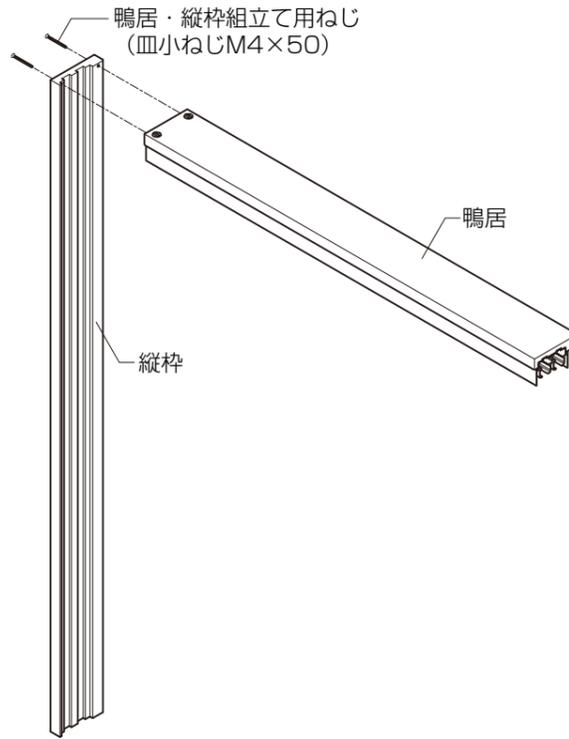
2 縦枠の組立て

●下図のように鴨居と縦枠を組合せ、鴨居・縦枠組立て用ねじ(皿小ねじM4×50)で固定します。

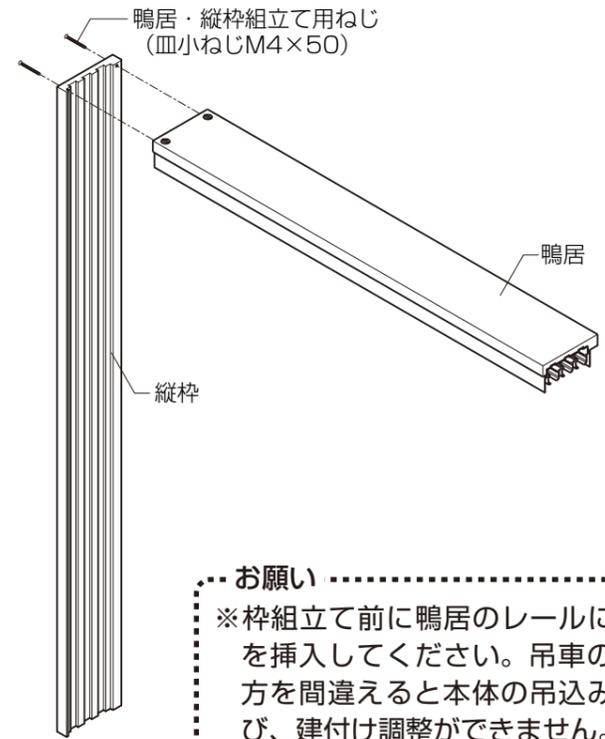
●1枚引き



●2枚引き

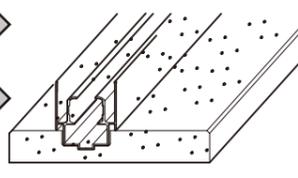
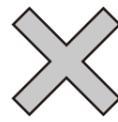
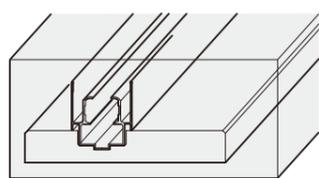


●3枚引き



お願い

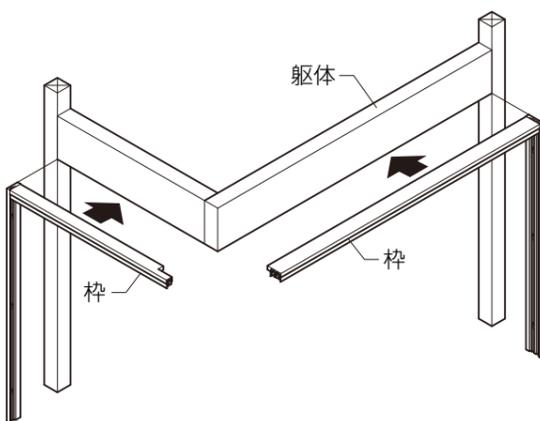
※枠は取付け前に開梱した状態で現場に置かないようにしてください。現場の粉塵がWソフトモーション部品に混入し、作動不具合の原因となります。



お願い

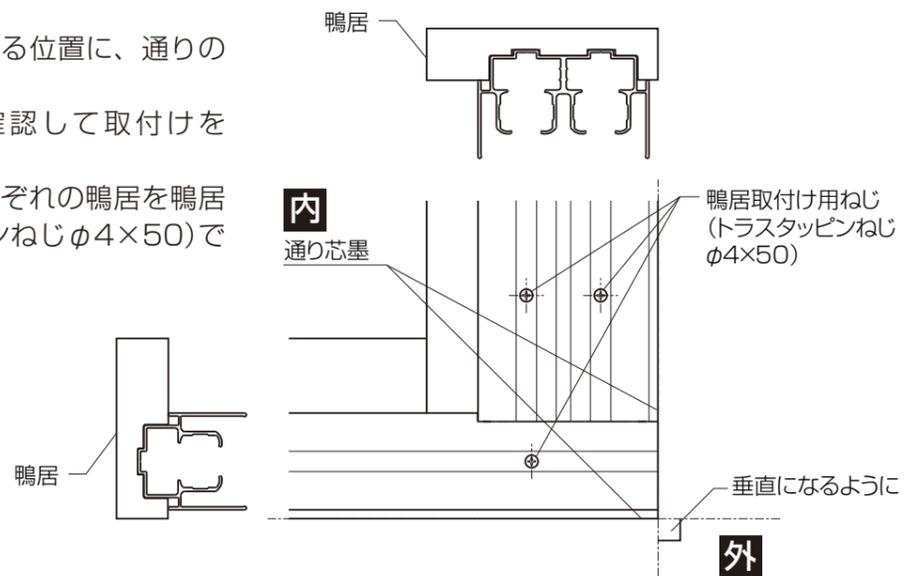
※枠組立て前に鴨居のレールに吊車を挿入してください。吊車の入れ方を間違えると本体の吊込みおよび、建付け調整ができません。
 ※鴨居のコーナー側と縦枠側の向きに注意して組立てをしてください。
 ※鴨居にジョイント金具と組立て穴のある側が縦枠側となります。
 ※納まり図を確認し、鴨居と縦枠の組合せに注意して組立てをしてください。

2 枠の取付け



2 枠の取付け

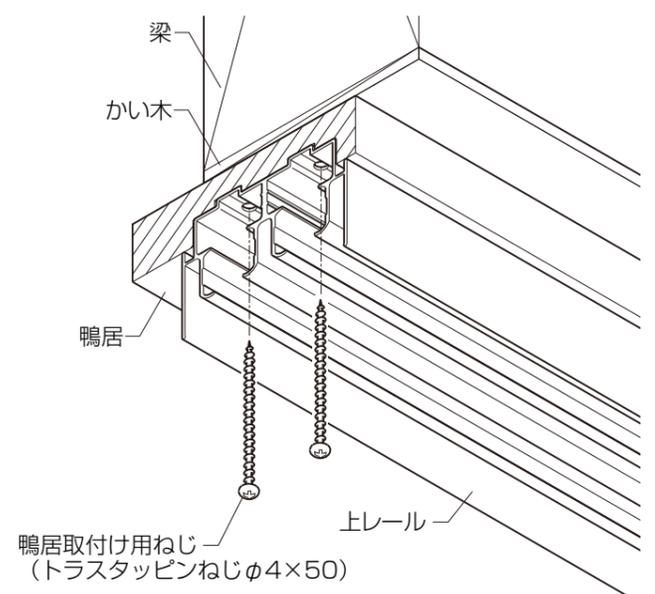
- ①納まり図を参考に枠を取付ける位置に、通りの芯墨を出してください。
 ※部材の方向(内・外側)を確認して取付けを行ってください。
- ②位置出しをしたところにそれぞれの鴨居を鴨居取付け用ねじ(トラスタッピンねじφ4×50)で仮固定します。
 ※墨出した位置にそれぞれの鴨居を突き付け、鴨居が互いに垂直になるように設置してください。



- ③鴨居はかい木を入れて、上レールの穴から鴨居取付け用ねじ(トラスタッピンねじφ4×50)で躯体に固定してください。

お願い

※鴨居の躯体固定ねじを締込みすぎると、本体の動きが悪くなる場合があります。本体を吊込んだときに動きが悪い場合は、ねじをゆるめてください。



- ④水準器で上枠の水平を確認してから、縦枠の上部を縦枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50で仮固定をしてください。
- ⑤下げ振りを使って垂直・倒れが無いことを確認してから縦枠の下部を仮固定してください。
- ⑥枠の水平・垂直を再度確認して、上下左右のすき間をかい木で調整後、残りのねじで本固定してください。
 ※枠に水糸を張る等して枠が曲がっていないことを必ず確認してください。
 ※縦枠の固定箇所を増やしたい場合は現場手配の木ねじで躯体に固定してください。

●お願い

※建具引込み部の小壁の取付けは、枠を開口部に取付けてから行なってください。

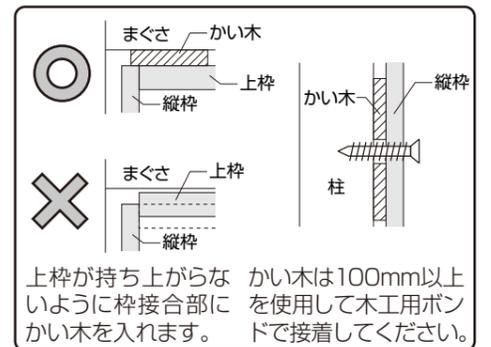
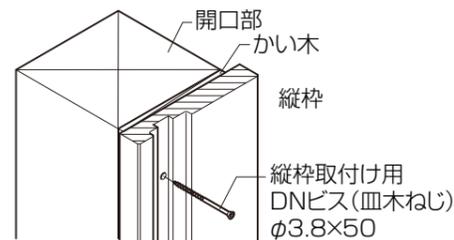
※枠固定金具の調整には電動ドライバーは使用しないでください。

※必ず内装ボードは縦枠に突きあてて取付けてください。突きあてができない場合は必ずかい木を入れてください。

※本製品には中縦枠は同梱されていません。小壁の仕上げは現場にて対応してください。

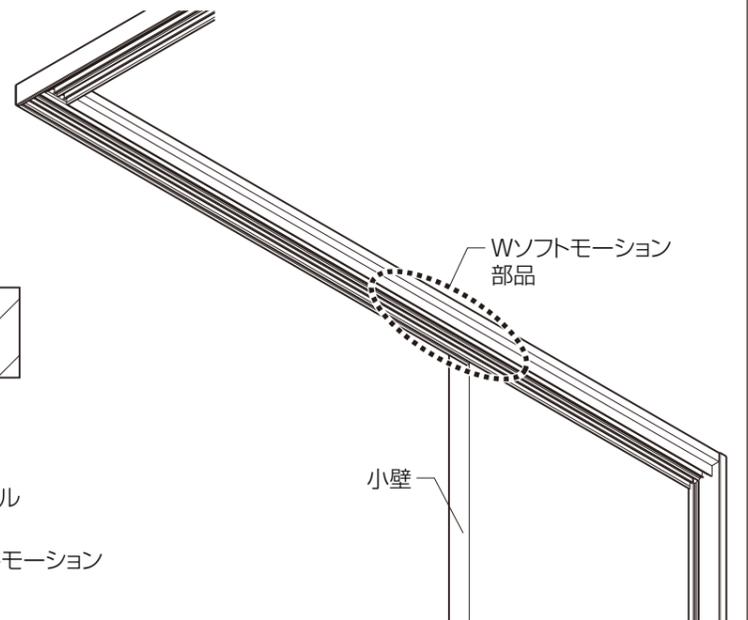
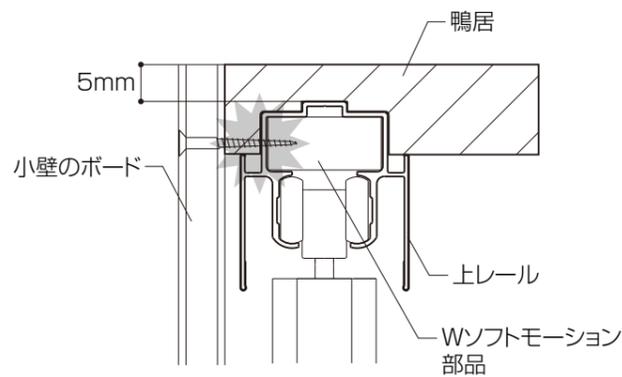
●縦枠

※縦枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50で固定してください。



■小壁のボード取付け

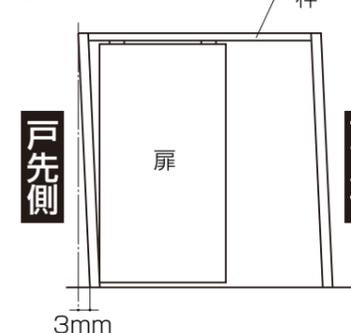
●小壁のボードを取付ける際、取付けねじが鴨居と上レールを貫通しないように注意してください。小壁をまたぐ位置にWソフトモーション部品があるため、部品が破損し、作動不具合の原因となります。



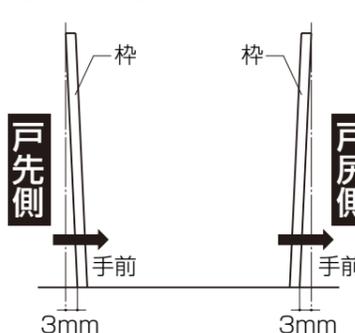
■取付け精度の許容範囲

※横方向の倒れ・奥行き方向のねじれが3mmをこえる場合、枠のタイコ・ツツミが両端・中央で+1、-2mmを超えるは取付け修正を行ってください。(引戸が吊込めない・Wソフトモーション機構の作動不具合・ガイドピンの外れの原因となります。)

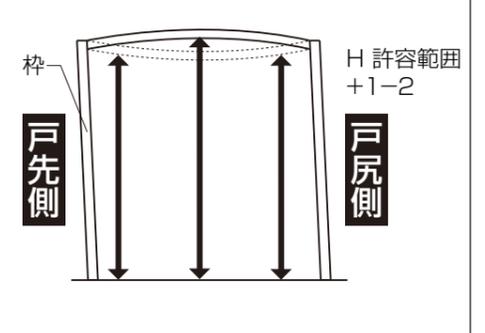
●横方向の倒れ



●奥行き方向のねじれ



●枠のタイコ・ツツミ

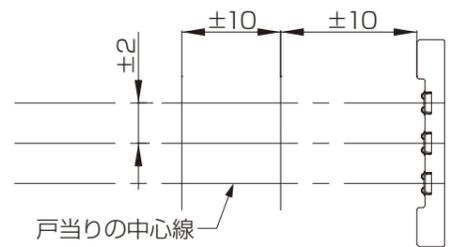


3 埋込みガイドピン納まりの場合

3 埋込みガイドピンの取付け

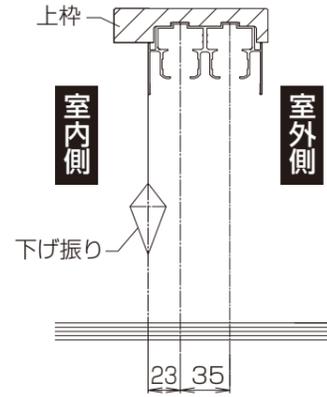
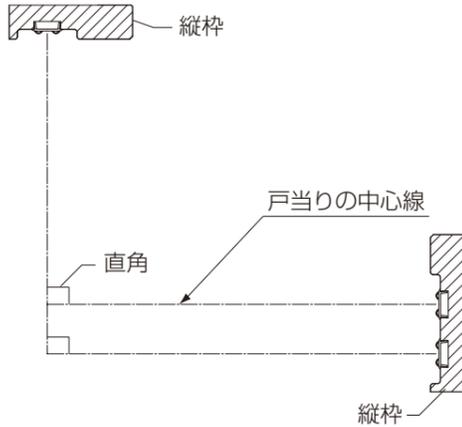
①参考納まり図のガイドピン配置図(11~14ページ)を参照し、ガイドピンの位置出しをしてください。

※位置のズレは開閉方向で±10mm以下、本体の面方向で±2mm以下で位置出しをしてください。
ズレが大きい場合、開閉時に本体がピンからはずれる場合があります。



お願い

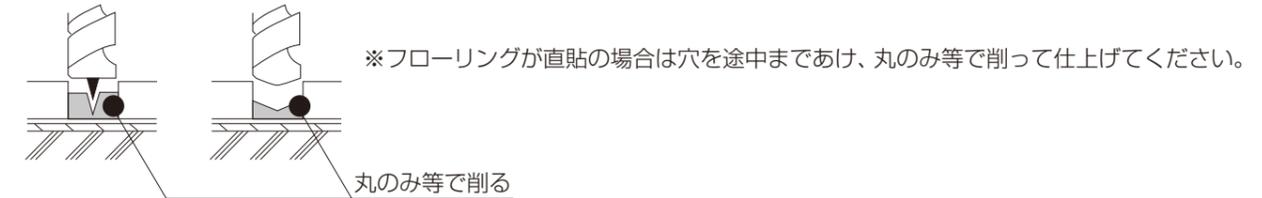
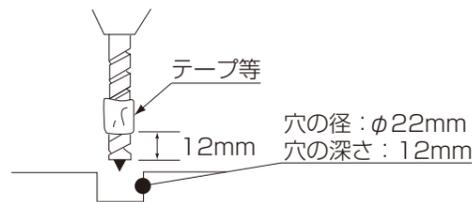
※上レールの本体引戸の中心線の真下になるよう墨出しをしてください。
※A側、B側の墨出しは必ず垂直になるように行ってください。
位置出しができていないと本体開閉不具合の原因となります。



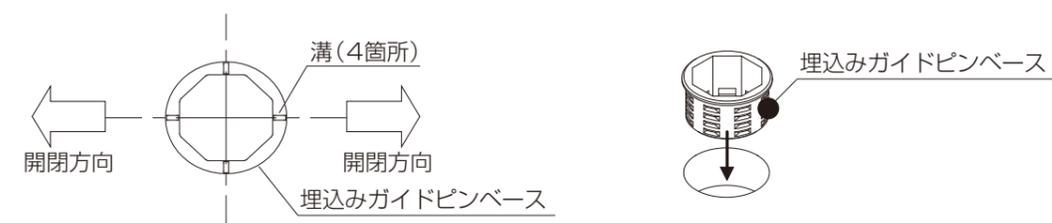
※納まり図を参照し墨出しをしてください。

②ガイドピンの位置にドリル(φ22)で穴を開けてください。

※ドリルの穴の深さの位置にテープを巻き目印とすると確実に12mm深さの穴をあけることができます。
※穴の深さが不足していると埋込みガイドピンベースが最後まで入らず走行性が悪くなります。
※穴をあけた後、バリ、切粉を取り除いてください。
※穴をあける際は床に対してドリルを垂直にしてください。本体開閉時の走行性が悪くなるおそれがあります。

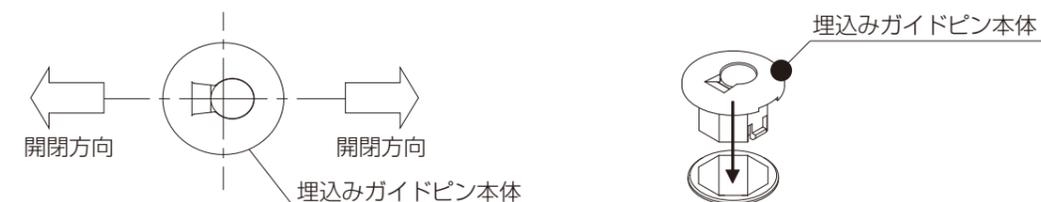


③埋込みガイドピンベースを部品のつば部の溝が本体の走行方向に並行、または垂直になるように穴にはめ込んでください。
※確実に埋込みガイドピンベースがはまっていることを確認してください。



④埋込みガイドピンベースにガイドピン本体を図のようにカチッと音がするまで押込んでください。

※本体の吊込み後にピンの位置調整をします。
本体吊込み後に、ガイドピン本体を取付ける場合は紛失に注意してください。



4 フラット下レール納まりの場合

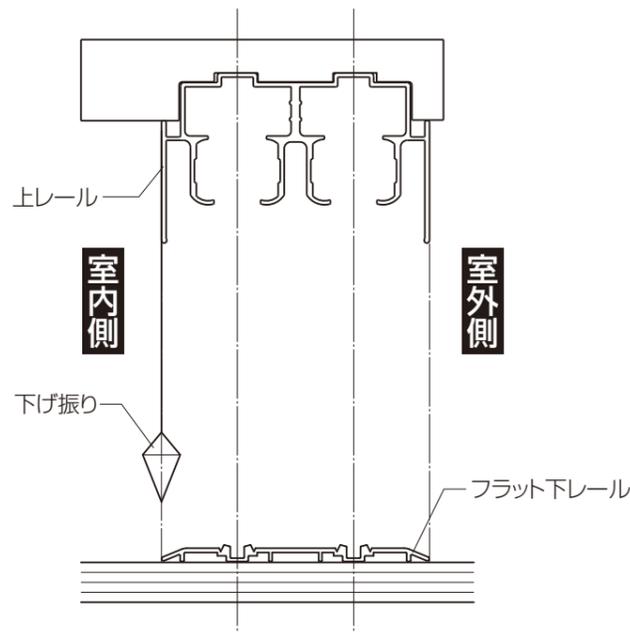
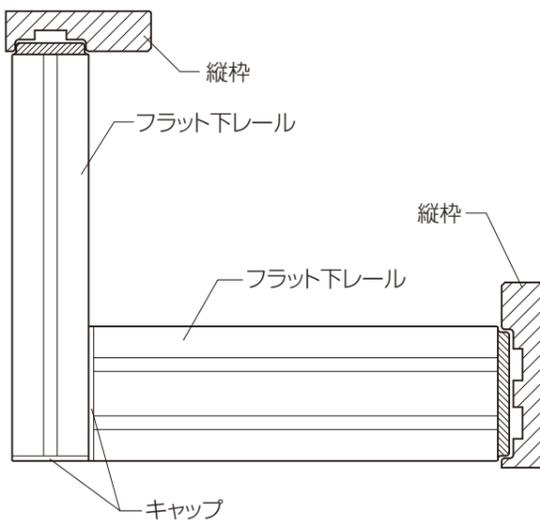
①納まり図を参考にフラット下レールを取付ける位置に墨出しをします。

お願い

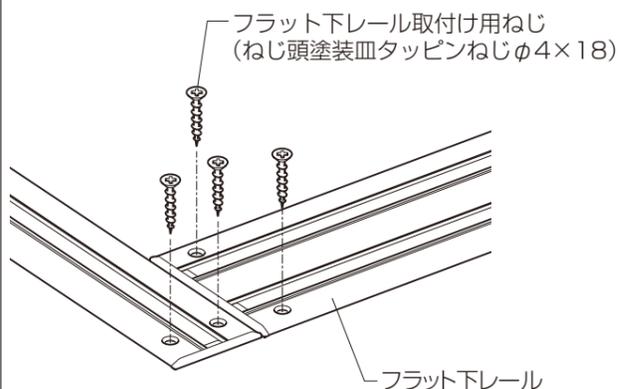
※上レールの真下にフラット下レールがくるように位置出ししてください。
位置出しができていないと本体開閉不具合の原因となります。

②墨出しした位置に縦枠とフラット下レールを突き付け、フラット下レールが互いに垂直になるように設置してください。

※キャップのついている側がコーナー側となります。

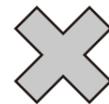
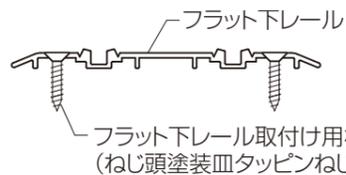


③フラット下レールをフラット下レール取付け用ねじ(ねじ頭塗装皿タッピンねじφ4×18)で固定します。



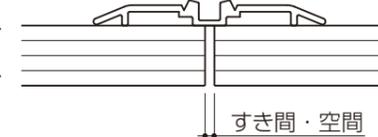
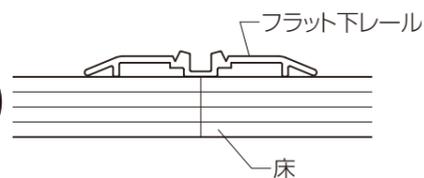
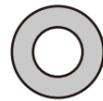
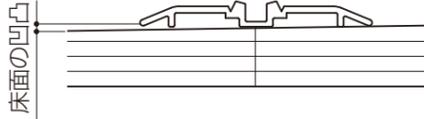
お願い

※フラット下レールを取付けるねじは、締めすぎないようにしてください。フラット下レールが変形し、本体開閉不具合の原因となります。



お願い

※フラット下レールを固定する床(下地)は段差やすき間がないように仕上げしてからレールを平らな面に固定してください。



5 戸当りの取付け

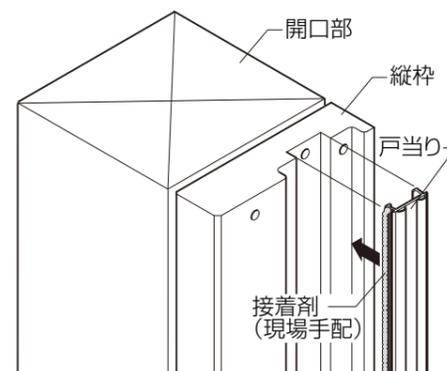
5 戸当りの取付け

⑦戸当りに接着剤(現場手配)を付けて溝をふさぎます。

※戸当りは必ず、下枠取付け後に取付けてください。

※戸当りが長い場合は、無理に入れずに必要量を切詰めてください。

※戸当りの接着は必ず枠の建付け完了後に行うようにしてください。



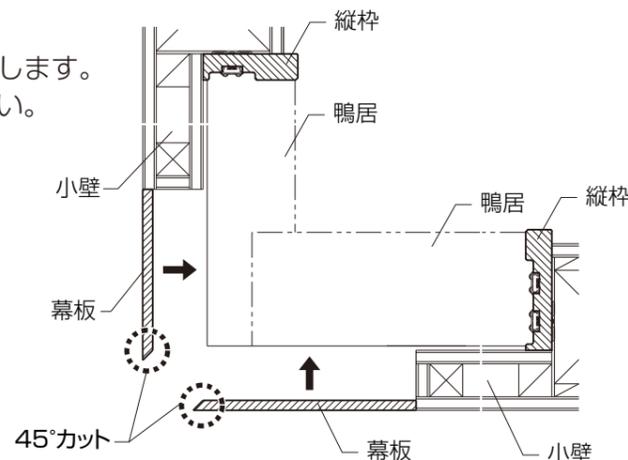
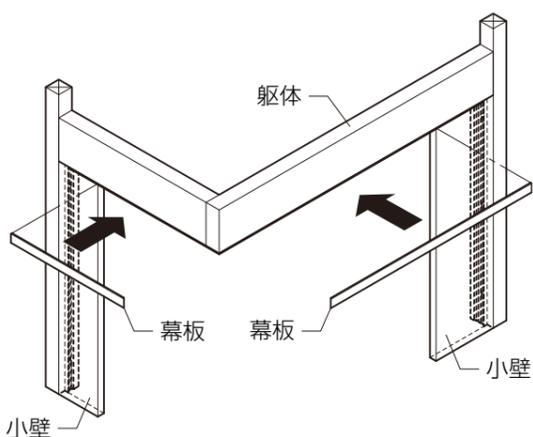
6 幕板の取付け

6 幕板の取付け

※小壁を仕上げた後に幕板を取付けます。

①幕板を現場寸法に合わせてコーナー側を45°カットします。

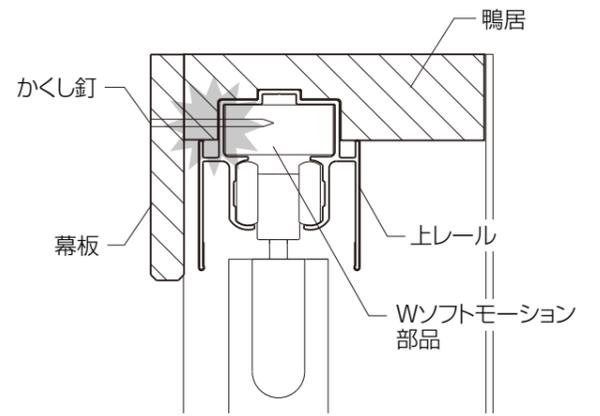
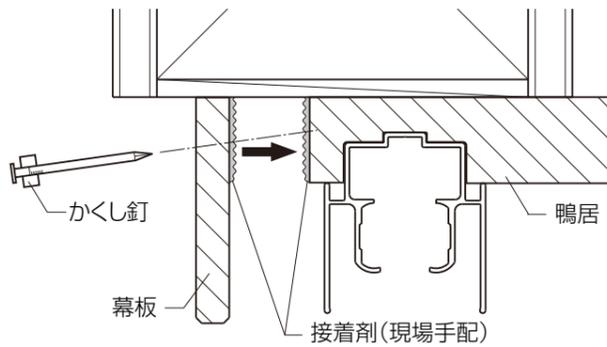
※幕板の上下取付け方向に注意してカットしてください。



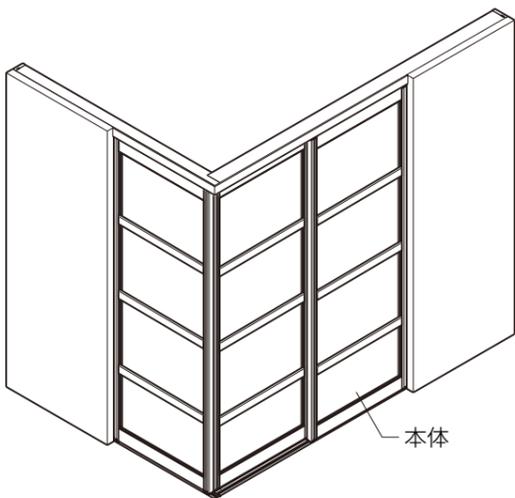
②幕板裏面の鴨居接着部分にまんべんなく接着剤(現場手配)を塗布します。

③かくし釘(現場手配)で固定します。

※上レールにかくし釘を打込まないように注意してください。レールを貫通し、Wソフトモーション部品を破損し、作動不具合の原因となります。



7 本体の吊込み



7 本体の吊込み

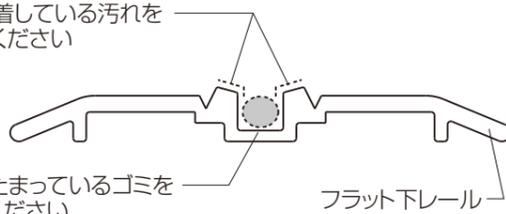
※本体の吊込み前に以下の作業を行ってください。

【フラット下レール納まりの場合】

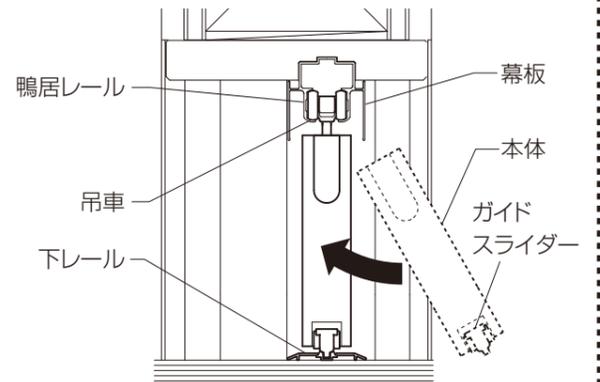
①レールの清掃を行ってください。

※この面に付着している汚れをふき取ってください

※この部分にたまっているゴミを吸い取ってください

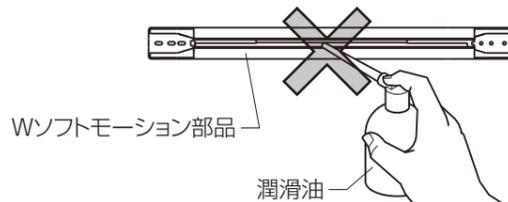


本体を持上げて、本体上部を鴨居レールの幕板の内側に入れ、その後、本体下部のガイドスライダを下レールにはめ込みます。



お願い

※Wソフトモーション部品に潤滑油などを塗布しないでください。作動不良の原因になります。



①片側ずつ吊車を本体に水平に押し込むと、ワンタッチで取付けられます。

※吊車の凸部を本体上部溝の凹部に合わせて差込みます。

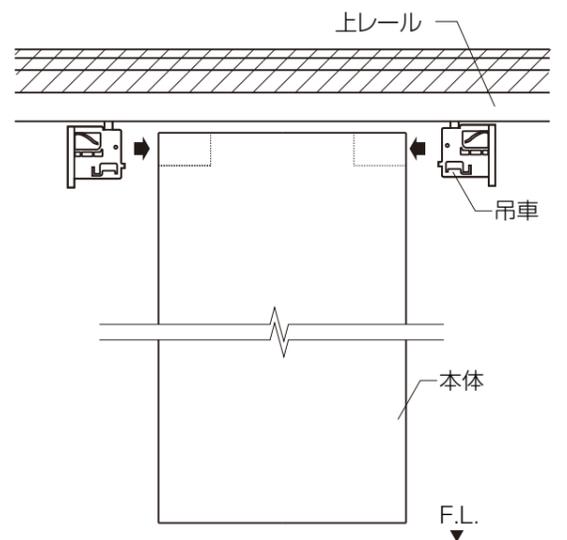
お願い

※Wソフトモーション部品と吊車が干渉しない位置で吊込みを行ってください。

②本体と床のチリ寸法が8(-1、+2)mmの範囲にあることを確認してください。調整が必要な場合は9/14ページの『■本体の調整 1 上下調整』の手順にそって調整をしてください。

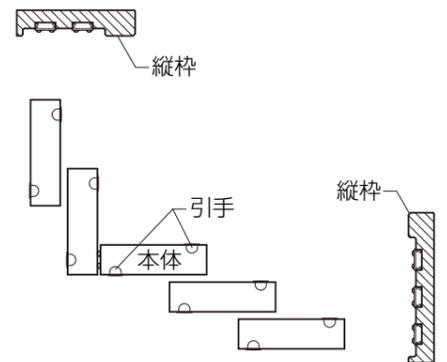
▲ 注意

●吊車の本体への取付けは、吊車が本体木口面と同一面になるまで押し込んでください。押し込み後、引張って抜けないことを確認してください。押し込みが足りないと本体が脱落するおそれがあります。



お願い

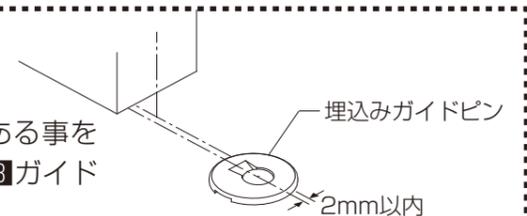
※引手方向(勝手)を確認して枠に吊込んでください。



【埋込みガイドピンの場合】

※本体の吊り込み後に以下の確認を行ってください。

③全てのガイドピンの中心が本体の中心から2mm以内にある事を確認してください。調整が必要な場合は、『■本体の調整 3 ガイドピン位置前後調整』の手順にそって調整をしてください。



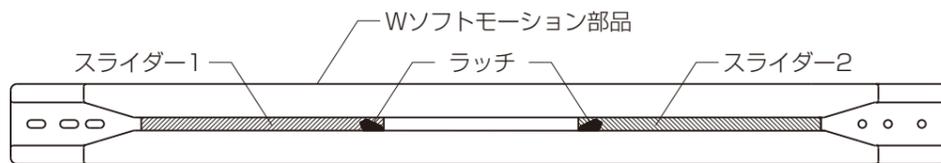
■Wソフトモーション機構の復帰方法

●本体を吊込んでもWソフトモーション機構が作動しない場合は、Wソフトモーション部品を確認してください。

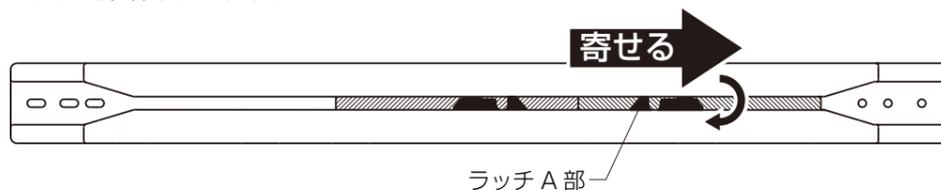
Wソフトモーション部品の正常な状態は下図の通りです。

下図の状態ではない場合、以下の手順で正常な状態に戻してください。

※正常な状態はスライダー1とスライダー2が離れた状態です。



①スライダーを片側に寄せ、寄せた側と逆側のラッチA部にドライバーなどを挿入し、片側のラッチを回転させます。



②回転させたラッチと逆側のラッチ（ラッチB部）にドライバーを挿入し、引っ張りまします。引っ張ると端部でラッチが回転し正常な状態に戻ります。



■本体の調整

※本体召合せ部のチリが大きい場合、吊車の上下・左右調整でチリが小さくなるように調整してください。

1 上下調整(調整幅+4mm、-1mm)

●プラスドライバーで、吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。

※床面と本体下部とのチリ寸法は、12(-1、+2)mmです。

※本体を下げすぎるとガイドピボット先端部と本体が当たりますので、下げすぎないでください。

2 左右調整(±2mm)

●左右調整は、プラスドライバーで吊車下部の調整ねじを右に回すと本体が右へ動き、左に回すと本体が左に動きます。

3 ガイドピン位置前後調整(調整幅4mm)

●固定ガイドピンを切欠き部(2箇所)にマイナスドライバーを同時に差込んで外してください。

※切欠き部1箇所だけで外すと、製品が変形するおそれがあります。

※床にキズがつかないようにマイナスドライバーの下にあて布をして外してください。

●本体が静止していることを確認し、本体の中心線上にガイドピンの先端がくるようにガイドピンをまわして位置をあわせてください。

※中心のズレは2mm以下に調整してください。

※中心がずれていると、可動間仕切り開閉時にガイドピンが外れてしまう場合があります。

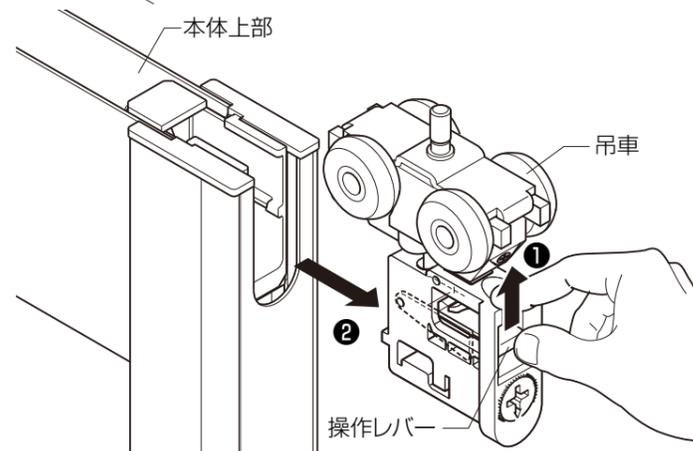
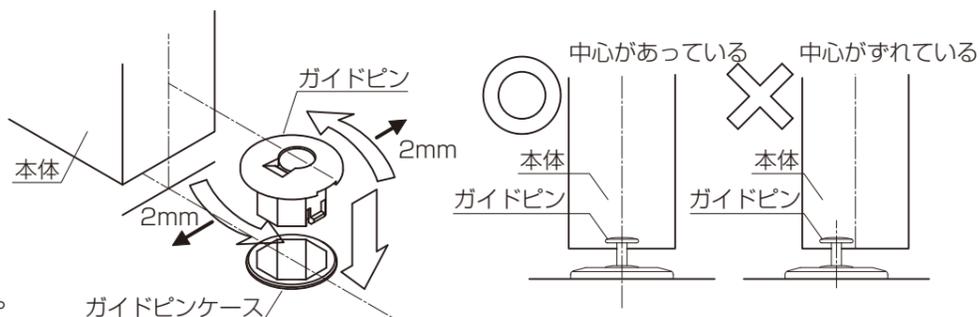
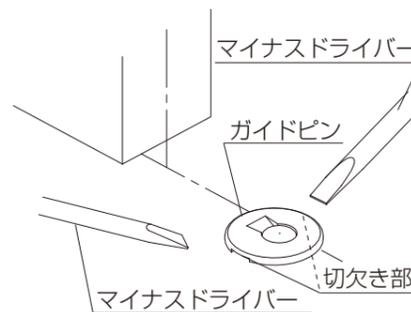
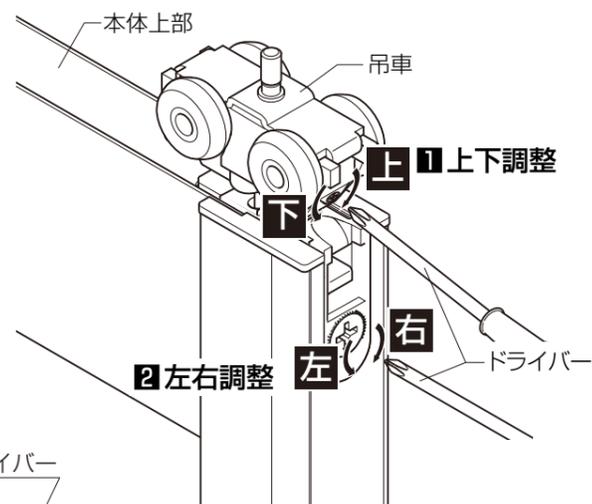
※ガイドピンケース内部、ガイドピン本体にゴミなどが入り込んでいる場合はきれいに取り除いてください。

●位置があったらガイドピンをガイドピンケースへ最後まで押込んでください。

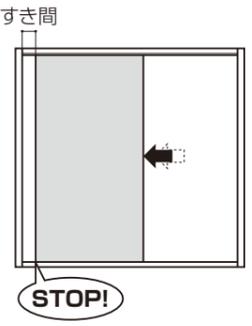
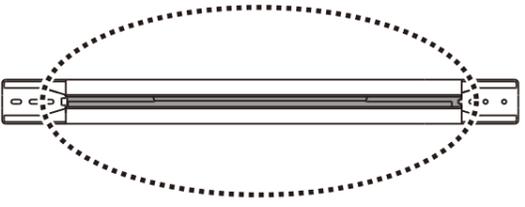
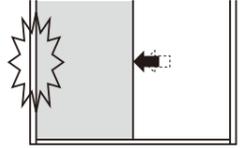
4 本体の取外し方法

●本体を手で支えてから吊車の操作レバーを指でつまみ、上に押し上げます。次に吊車を本体の内部ケースより引抜き、取外します。

※取外しがやりにくい場合は、マイナスドライバーなどを使用して操作レバーを押し上げながら引抜いてください。



■Wソフトモーション機構 異常時の対処方法

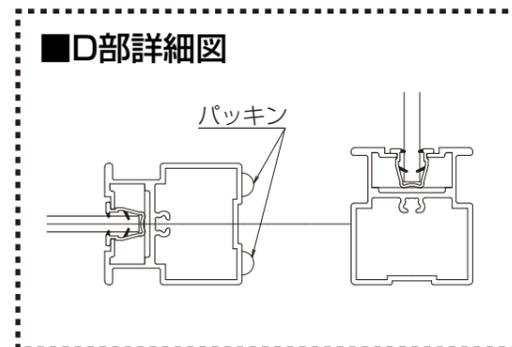
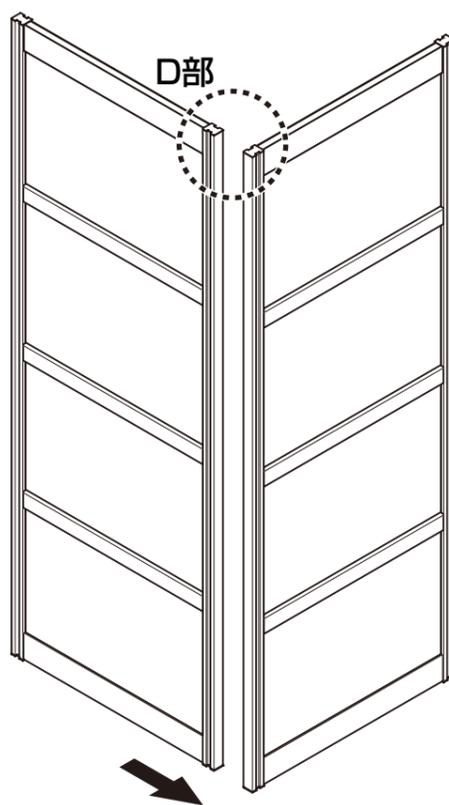
現象	チェックポイント	対処方法
<p>閉まりきらない</p> 	<p>●枠の取付け精度が許容範囲をオーバーしている ※『■取付け精度の許容範囲』の欄参照</p> <p>●Wソフトモーション部品の外観に潤滑剤が塗布された形跡がある</p> 	<p>許容範囲内となるように再取付けしてください。</p> <p>Wソフトモーション部品の交換が必要です。</p>
<p>ブレーキが効かない</p>  <p>※ブレーキの効きには限界があります。重量の重たい本体を速く閉めるとブレーキ感を弱く感じたり、逆に重量の軽い本体・Wサイズの小さい本体を速く閉めるとブレーキ感を強く感じたりする場合があります。</p>	<p>●Wソフトモーション部品の外観に潤滑剤が塗布された形跡がある</p> 	<p>Wソフトモーション部品の交換が必要です。</p>

■召合せパッキンの取付け

- ①本体の吊込み・建付け調整を行った後、召合せ部に本体同梱のパッキンを取付けます。
 - ②パッキン裏面のシートをはがし、右図の位置に5kg程度の力で押し張ります。パッキンは長めのものを同梱していますので、現場でカットしてください。
- ※アルミ建具用(グレー)2本、木建具用(枠同色)2本が同梱されています。本体の仕様にあわせて張ってください。

お願い

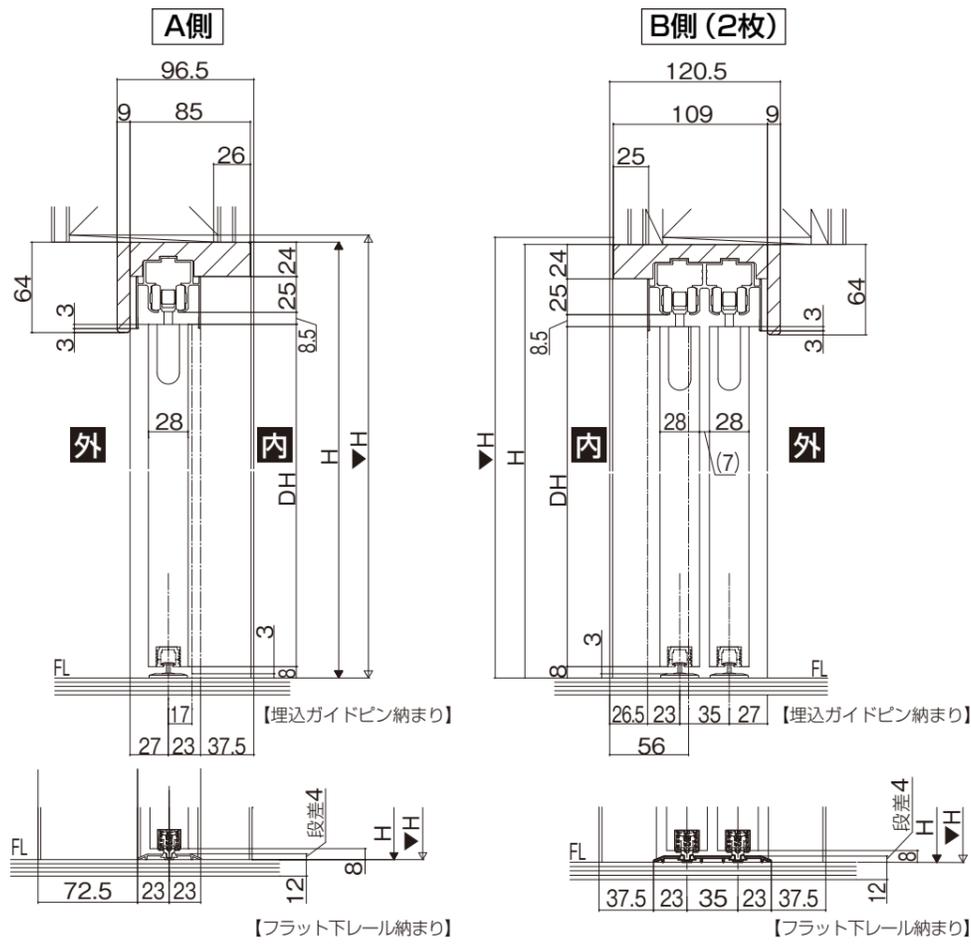
- ※パッキンは、必ず本体を吊込んで、建付け調整を行ってから張ってください。
- ※パッキンは、張付け面のホコリ・汚れ・油分などを取除いてから張ってください。



参考納まり図

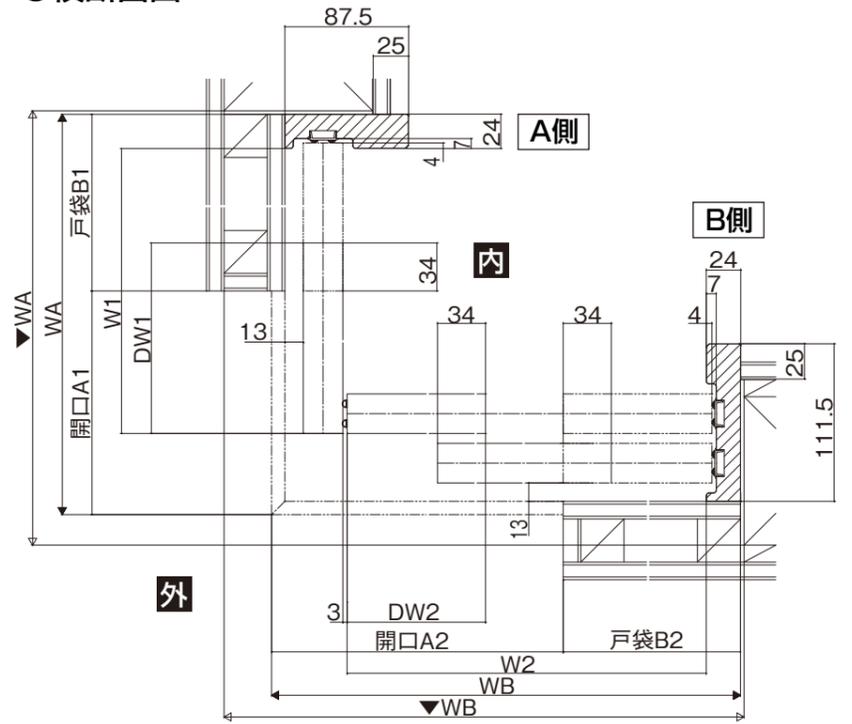
可動間仕切り引戸上吊方式コーナータイプ / 1×2枚、(2×1枚)

●縦断面図

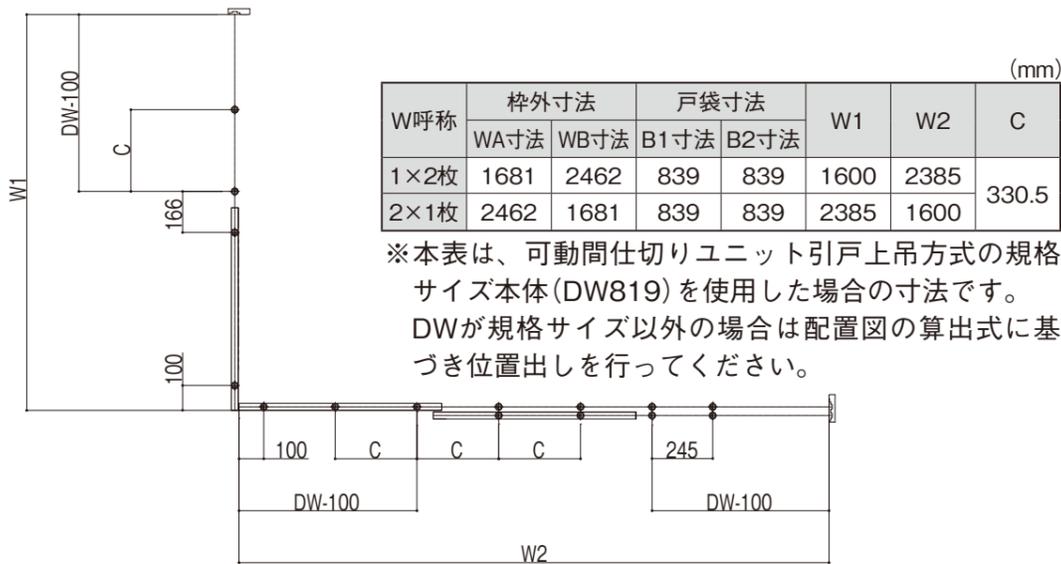


※A側が2枚、B側が1枚の呼称2×1枚は本図と対称とします。
 ※CA4、CA6の戸厚は31mmになります。

●横断面図



●埋込みガイドピン配置図



W呼称	枠外寸法		戸袋寸法		W1	W2	C
	WA寸法	WB寸法	B1寸法	B2寸法			
1×2枚	1681	2462	839	839	1600	2385	330.5
2×1枚	2462	1681	839	839	2385	1600	

※本表は、可動間仕切りユニット引戸上吊方式の規格サイズ本体(DW819)を使用した場合の寸法です。
 DWが規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

算出式 1×2枚(2×1枚) :

$$DW1 = (WA - 43) / 2$$

$$DW2 = (WB - 5) / 3$$

$$A1 = (WA + 3) / 2$$

$$A2 = (2WB - 55) / 3$$

$$B1 = (WA - 3) / 2$$

$$B2 = (WB + 55) / 3$$

$$W1 = 2DW - 38$$

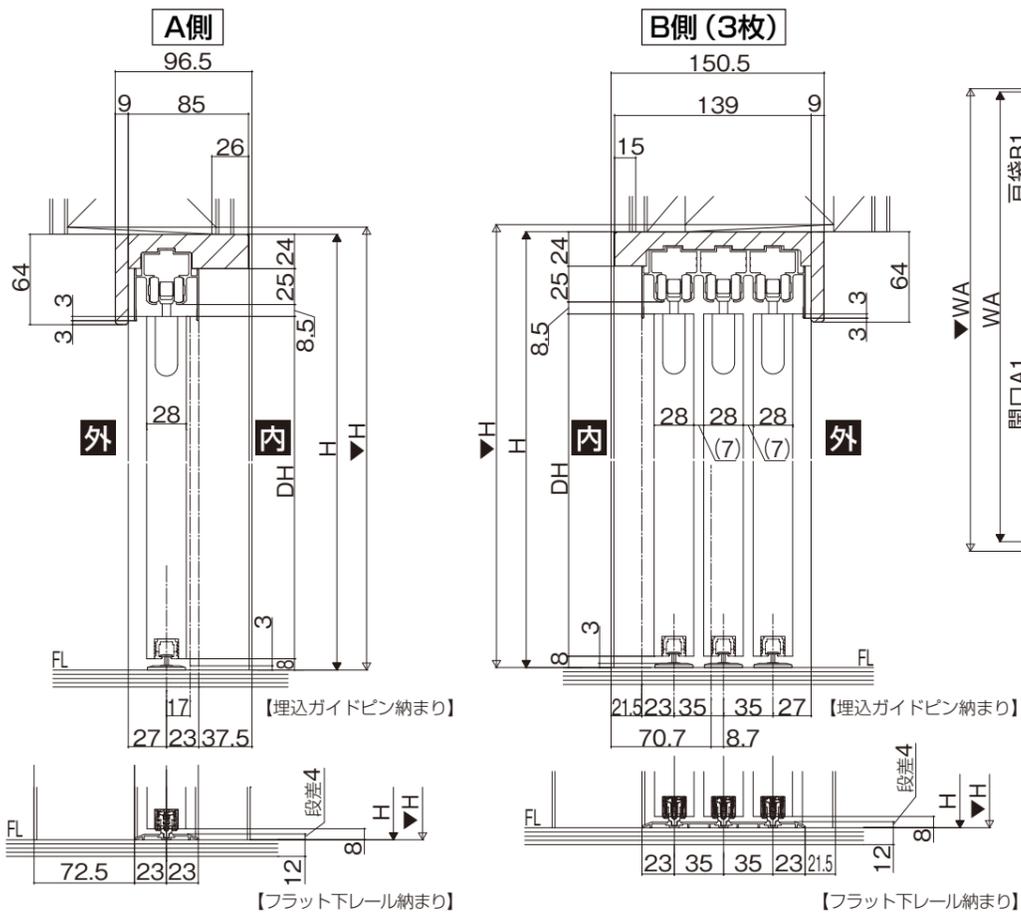
$$W2 = 3DW - 72$$

$$C = (DW - 158) / 2$$

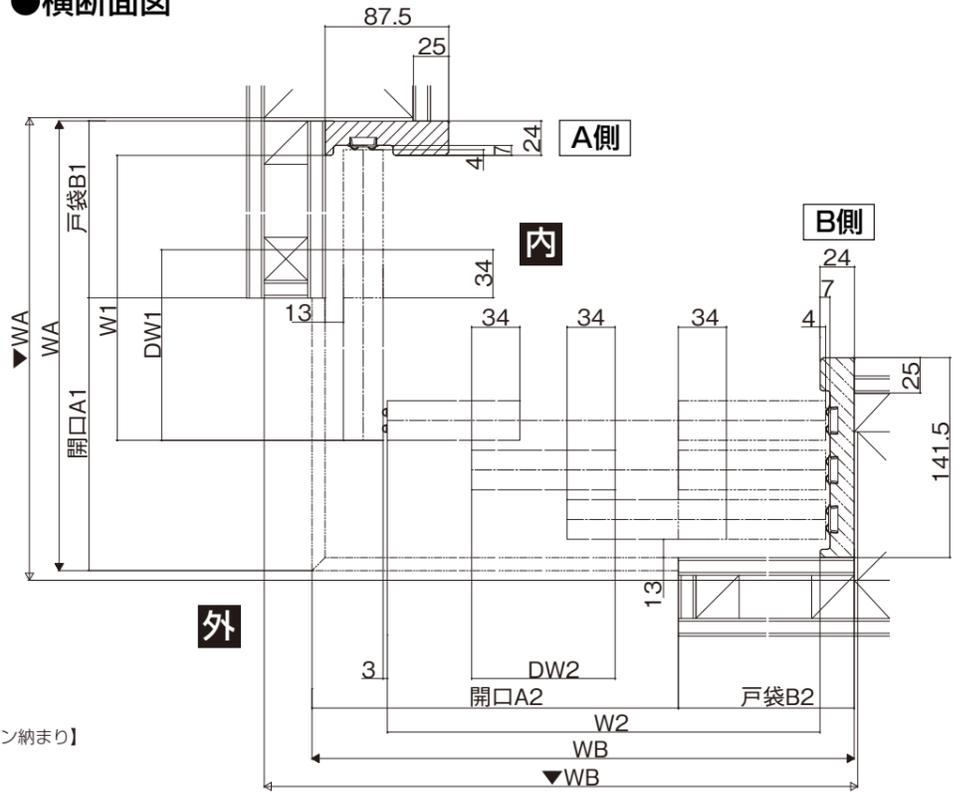
部材名称	1枚側	2枚側
	枠幅寸法	枠幅寸法
縦枠	87.5	111.5
鴨居	85	109
幕板	9	9

■可動間仕切り引戸上吊方式コーナータイプ / 1×3枚、(3×1枚)

●縦断面図



●横断面図



※A側が3枚、B側が1枚の呼称3×1枚は本図と対称とします。
 ※CA4、CA6の戸厚は31mmになります。

●埋込みガイドピン配置図



※本表は、可動間仕切りユニット引戸上吊方式の規格サイズ本体(DW819)を使用した場合の寸法です。
 DWが規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

算出式 1×3枚(3×1枚) :
 $DW1 = (WA - 78) / 2$
 $DW2 = (WB + 29) / 4$
 $A1 = (WA + 38) / 2$
 $A2 = (3WB - 109) / 4$
 $B1 = (WA - 38) / 2$
 $B2 = (WB + 109) / 4$
 $W1 = 2DW - 38$
 $W2 = 4DW - 106$
 $C = (DW - 158) / 2$

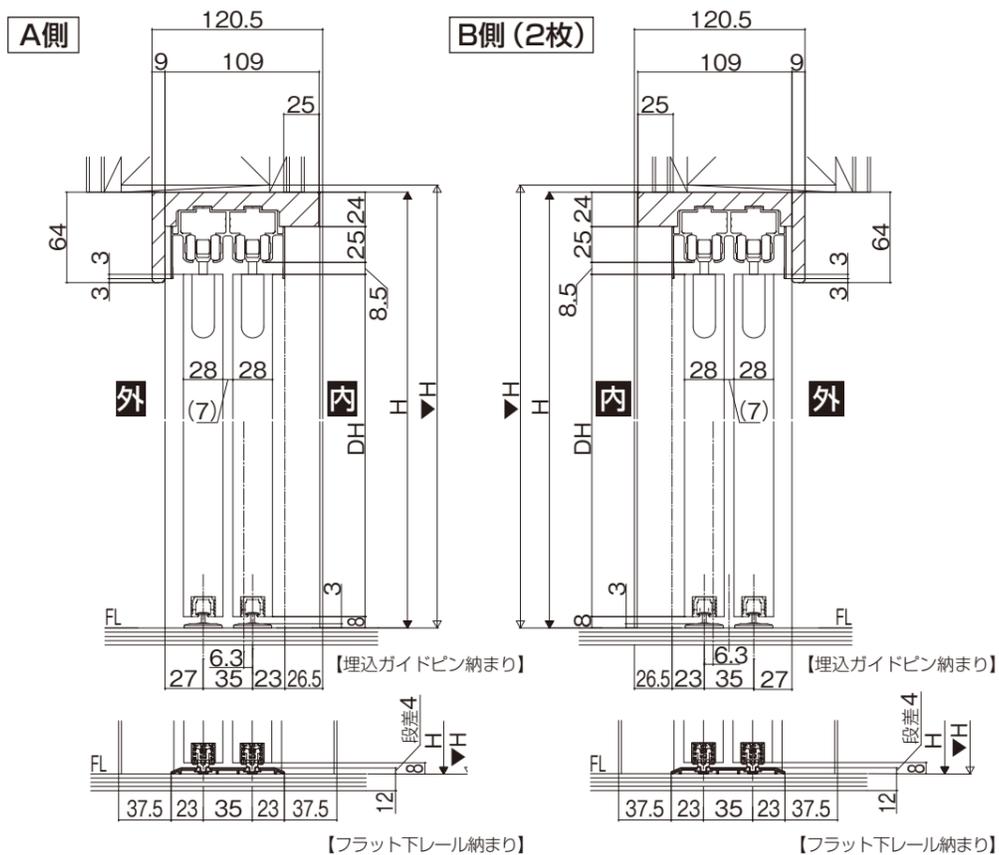
部材名称	1枚側	3枚側
	枠幅寸法	枠幅寸法
縦枠	87.5	141.5
鴨居	85	139
幕板	9	9

G252A20002

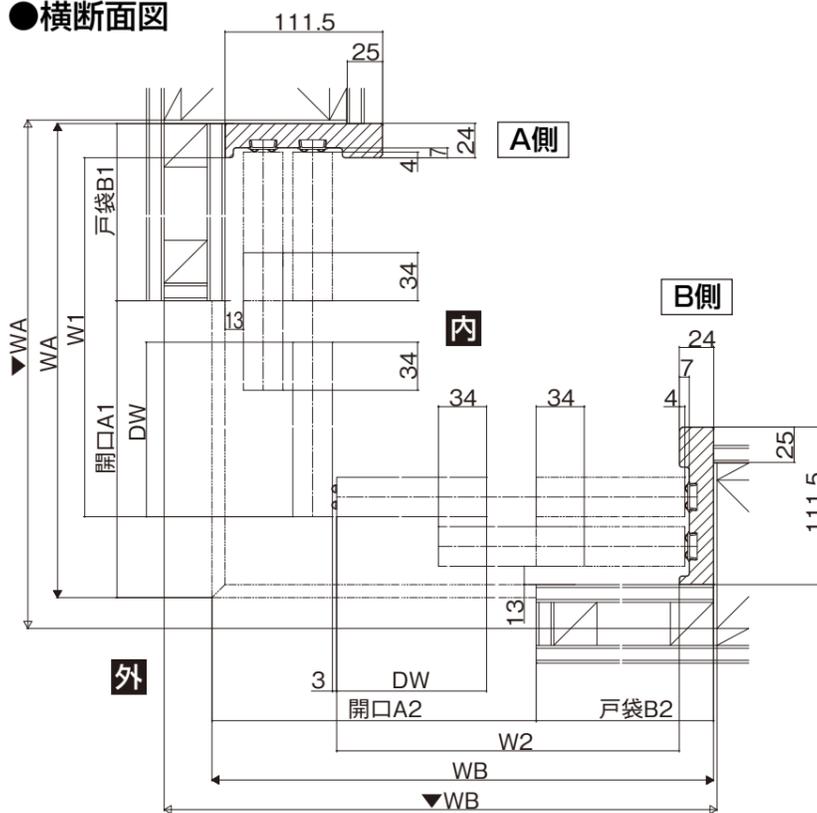
枠 1枚3枚 (3枚1枚) 基本図

■可動間仕切り引戸上吊方式コーナータイプ／2×2枚

●縦断面図



●横断面図



※CA4、CA6の戸厚は31mmになります。

●埋込みガイドピン配置図



W呼称	開口寸法		戸袋寸法		W1	W2	C
	WA寸法	WB寸法	B1寸法	B2寸法			
2×2枚	2466	2497	839	839	2385	2385	330.5

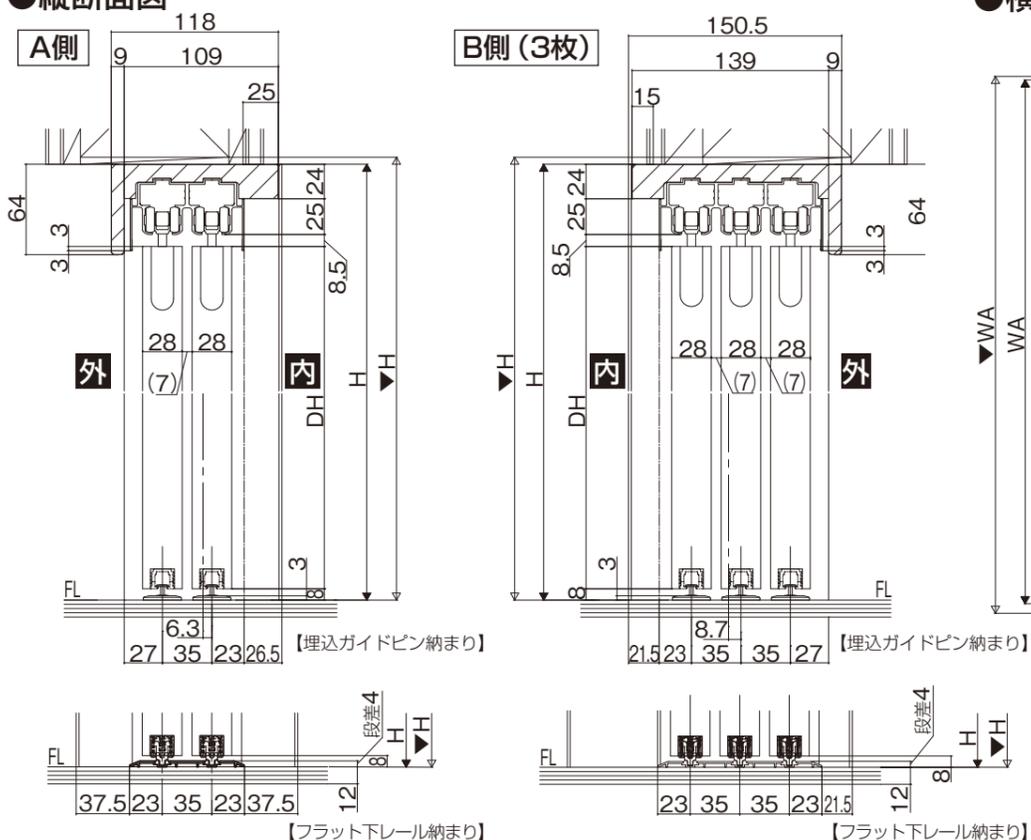
※本表は、可動間仕切りユニット引戸上吊方式の規格サイズ本体(DW819)を使用した場合の寸法です。DWが規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

算出式(2×2枚) : $DW1 = (WA - 9) / 3$
 $DW2 = (WB - 40) / 3$
 $A1 = (2WA - 51) / 3$
 $A2 = (2WB - 20) / 3$
 $B1 = (WA + 51) / 3$
 $B2 = (WB + 20) / 3$
 $W1 = 3DW - 72$
 $W2 = 3DW - 72$
 $C = (DW - 158) / 2$

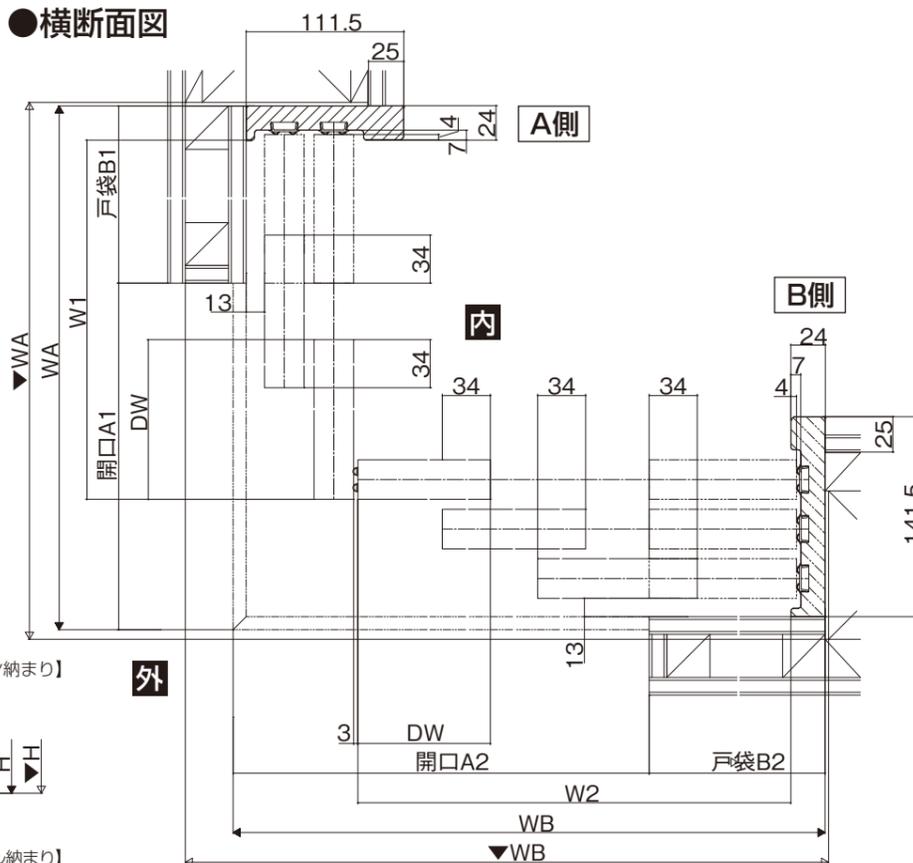
部材名称	2枚側
	枠幅寸法
縦枠	111.5
鴨居	109
幕板	9

■可動間仕切り引戸上吊方式コーナータイプ／2×3枚、(3×2枚)

●縦断面図



●横断面図



※A側が3枚、B側が2枚の呼称3×2枚は本図と対称とします。
 ※CA4、CA6の戸厚は31mmになります。

●埋込みガイドピン配置図



※本表は、可動間仕切りユニット引戸上吊方式の規格サイズ本体(DW819)を使用した場合の寸法です。
DWが規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

算出式(2×3枚(3×2枚)) : $DW1 = (WA - 44) / 3$
 $DW2 = (WB - 6) / 4$
 $A1 = (2WA - 16) / 3$
 $A2 = (3WB - 74) / 4$
 $B1 = (WA + 16) / 3$
 $B2 = (WB + 74) / 4$
 $W1 = 3DW - 72$
 $W2 = 4DW - 106$
 $C = (DW - 158) / 2$

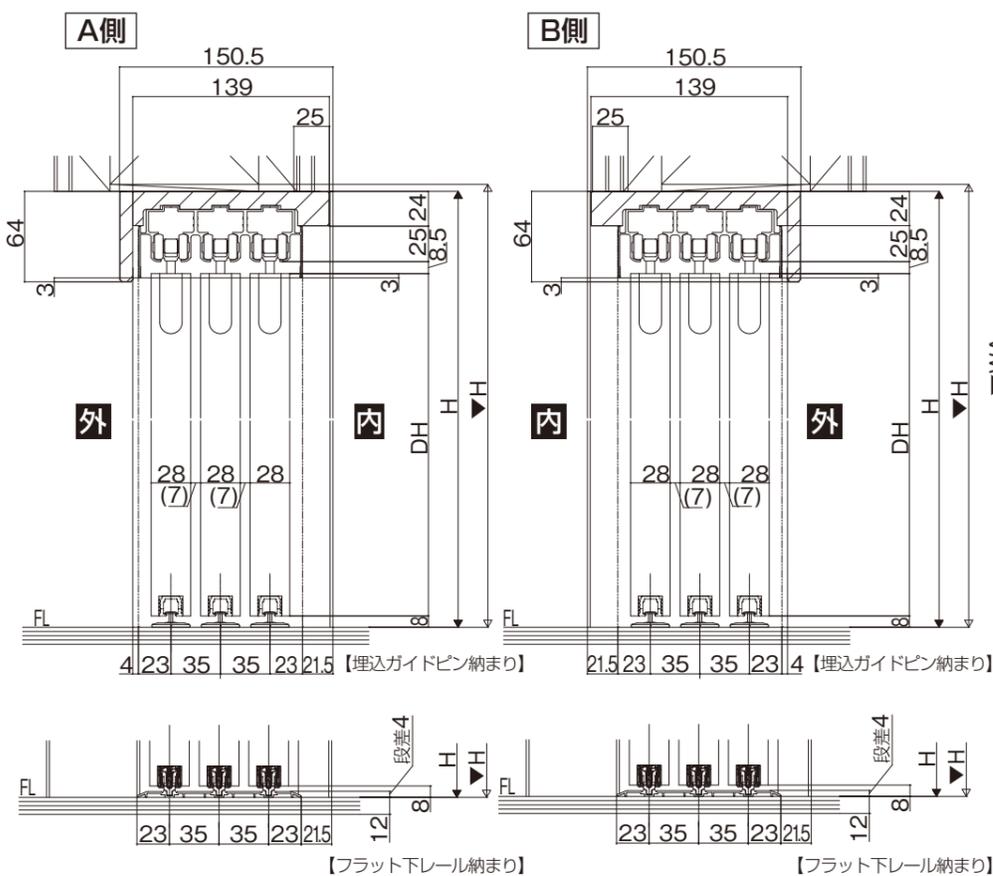
部材名称	2枚側	3枚側
	枠幅寸法	枠幅寸法
縦枠	111.5	141.5
鴨居	109	139
幕板	9	9

G252A20004

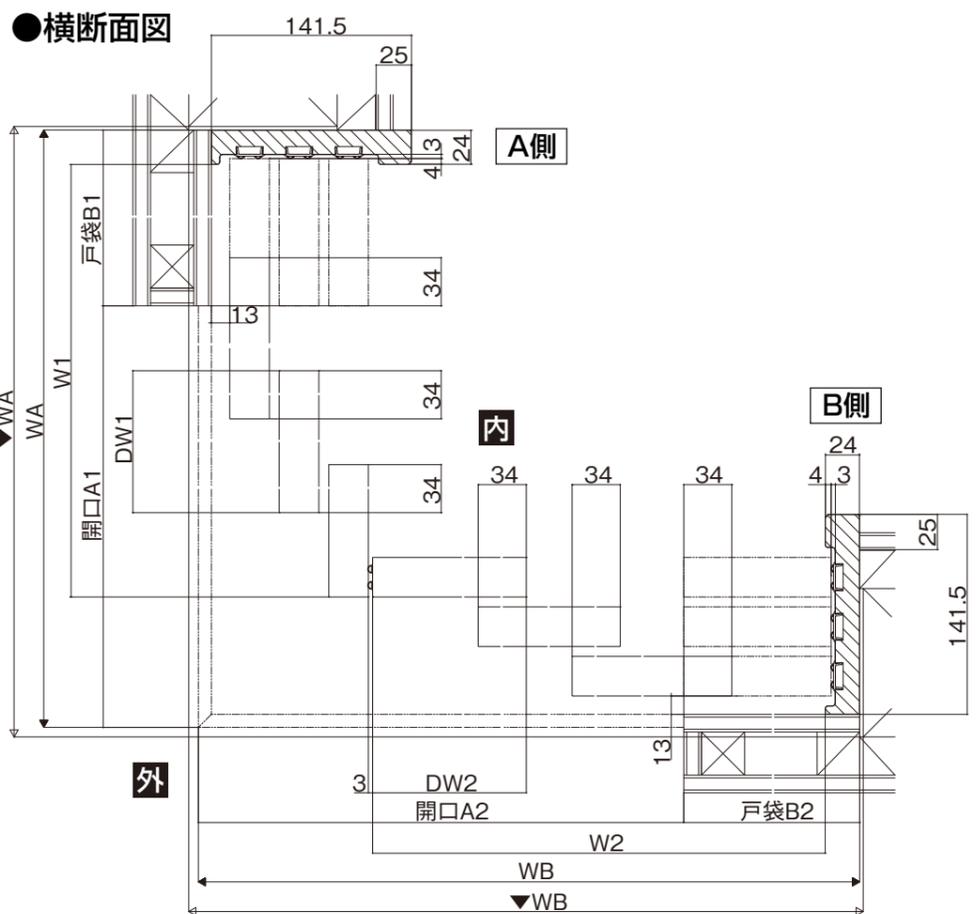
枠 2枚3枚(3枚2枚) 基本図

■可動間仕切り引戸上吊方式コーナータイプ/3×3枚

●縦断面図

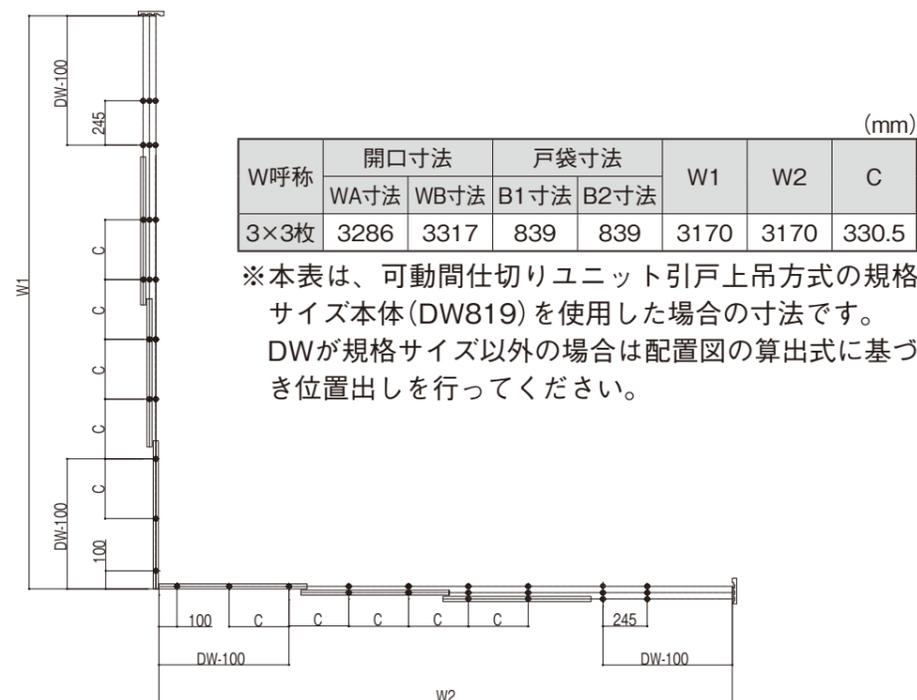


●横断面図



※CA4, CA6の戸厚は31mmになります。

●埋込みガイドピン配置図



※本表は、可動間仕切りユニット引戸上吊方式の規格サイズ本体(DW819)を使用した場合の寸法です。
DWが規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

算出式 : $DW1 = (WA - 10) / 4$
 $DW2 = (WB - 41) / 4$
 $A1 = (3WA - 70) / 4$
 $A2 = (3WB - 39) / 4$
 $B1 = (WA + 70) / 4$
 $B2 = (WB + 39) / 4$
 $W1 = 4DW - 106$
 $W2 = 4DW - 106$
 $C = (DW - 158) / 2$

部材名称	3枚側
	枠幅寸法
縦枠	141.5
鴨居	139
幕板	9

G252A20005

枠 3枚3枚(3枚3枚) 基本図